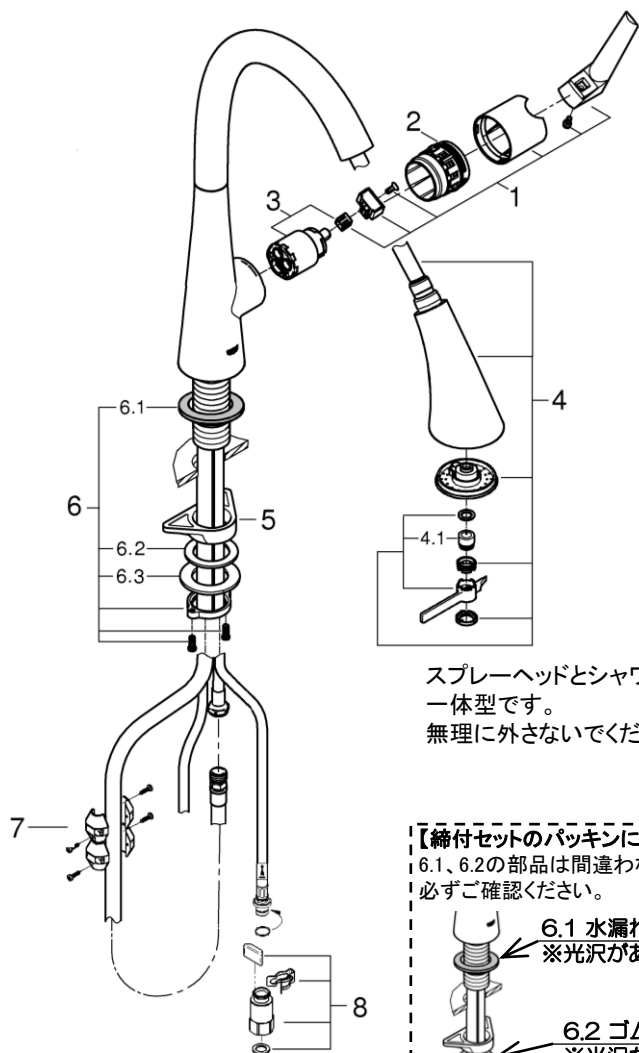


ZEDRA シングルレバーキッチン混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- ※ エアレーター専用工具は施工後、お客様にお渡しください。
- ※ 水受容器を設置される場合は、ホースの作動に干渉しづらい、市販のトレー式浅型タイプをおすすめいたします。

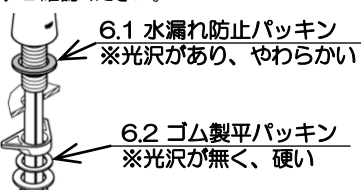


スプレーヘッドとシャワーホースは一体型です。無理に外さないでください。

| 図番 | 名称 |
|-----|-----------------|
| 1 | 開閉レバー |
| 2 | カートリッジ止ナットセット |
| 3 | セラミックカートリッジ |
| 4 | スプレーヘッド(ホース一体型) |
| 4.1 | エアレーター |
| 5 | 三角固定板 |
| 6 | 締付セット |
| 6.1 | 水漏れ防止パッキン |
| 6.2 | ゴム製平パッキン |
| 6.3 | ディスク |
| 7 | ホース用おもり |
| 8 | クイックソケット |

【締付セットのパッキンについて】

6.1、6.2の部品は間違わないよう必ずご確認ください。



【締付ナットについて】

本製品の締付けナットは製造時期により、以下の2種類あります。同梱部品をご確認いただき、それぞれの施工方法にそって正しく施工を行ってください。



安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa[1kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●クイックソケットの接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

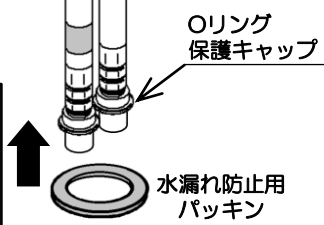
また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 取付け穴への設置

1. 水漏れ防止用パッキンを取付けます。

①給水・給湯ホース先端から水漏れ防止用パッキンを挿入します。



注意

給水・給湯ホース先端のリング保護キャップは、接続アダプターへ接続するまで外さないでください。

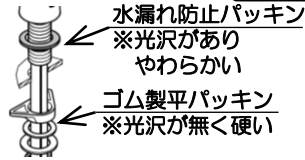
②本体の裏側の溝にパッキンを合わせます。



注意

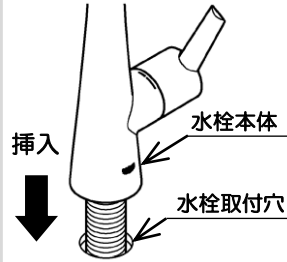
パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

注意



水漏れ防止パッキンはゴム製平パッキンと間違えないよう、必ずご確認のうえ取付けてください。
※漏水の原因になります。

2. 本体をカウンター上部から取付け穴に挿入します。



注意

取付け穴が本体の中心になるよう注意してください。

ポイント

ホース同士がぶつかって取付け穴に入れづらい場合は片側から入れるなど少しずつずらしながら入れてください。

2. 締付け部品による本体固定(製造時期により締付用部品が異なります)

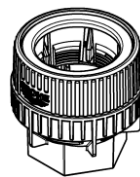
本製品の締付けナットは製造時期により、以下の2種類あります。

同梱部品をご確認いただき、それぞれの施工方法にそって正しく施工を行ってください。



固定ねじ付き締付ナット

「2-1. 固定ねじ付き締付ナットによる本体固定」に従って施工してください。

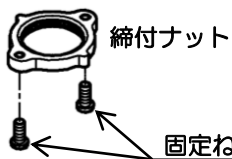


樹脂固定ナット

「2-2. 樹脂固定ナットによる本体固定」に従って施工してください。

2-1. 固定ねじ付き締付ナットによる本体固定

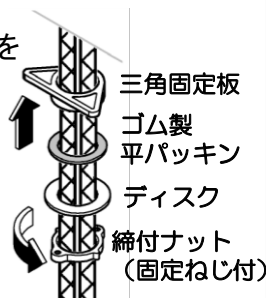
1. 締付ナットに固定ねじをねじこみます。



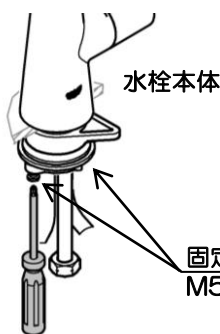
注意

固定ねじは必ず使用してください。

2. カウンター下から三角固定板、ゴム製平パッキン、ワッシャーをホースに挿入し締付ナットを締めつけていきます。



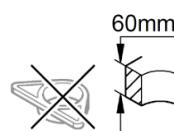
3. 締付ナットの固定ねじ(M5x12)を交互に最後までねじこみます。



注意

※固定ねじは必ず少しずつ交互に締付けてください。
片寄った締付になると固定強度が不十分となるおそれがあります。
※水栓本体が確実に固定されていることを確認して下さい。

注意



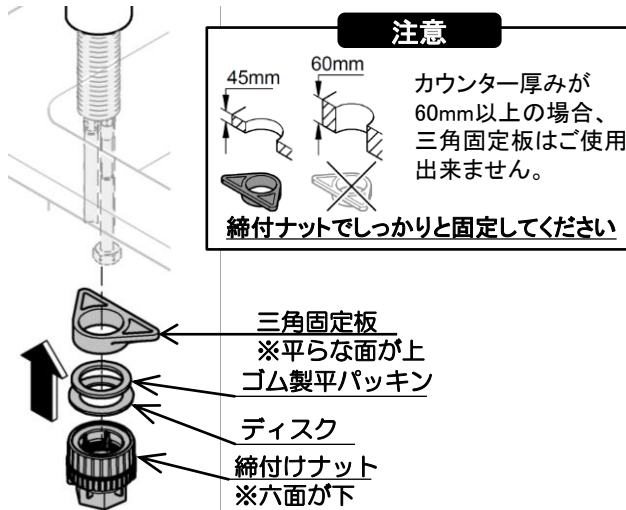
・締付ナットは手でしっかりと締めつけて下さい。
・カウンター厚みが60mm以上の場合、三角固定板は使用出来ません。締付ナットでしっかり固定してください。

据付手順

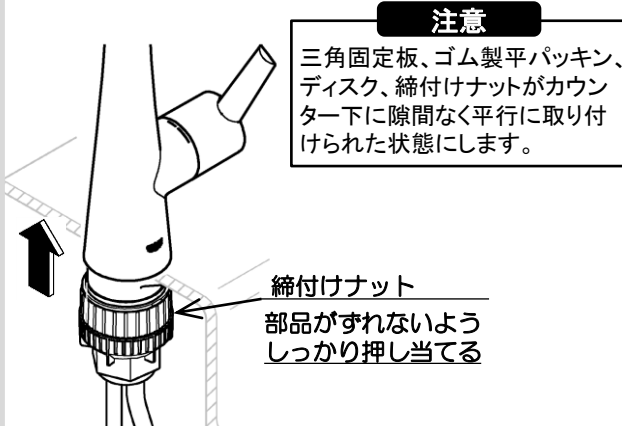
2. 締付け部品による本体固定(製造時期により締付用部品が異なります)

2-2. 樹脂固定ナットによる本体固定

1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、ディスク、締付けナットをカウンター下からホースに挿入します。

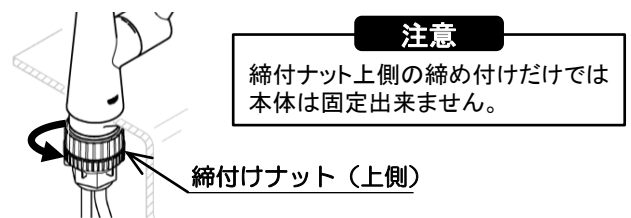


2. 締付けナットを本体ねじ込み部にまっすぐ差し込みます。

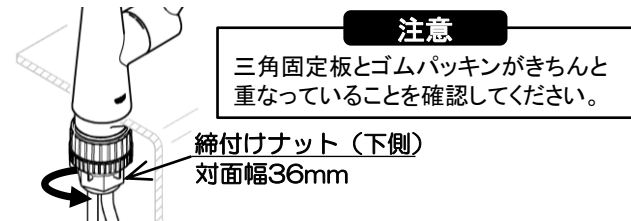


3. **ポイント**
-
- 上側
仮止めのみ
- 下側
必ず工具を使用して
締め上げ
- 本製品の締付けナットは2段構造のナットになっています。上側のナットで仮止めし、下側のナットで締め上げます。
- ※施工時は上側ナット締付時に正しく位置決めし、下側ナットで確実に固定してください。

締付けナットの上部を手で右回しに締め付けます。



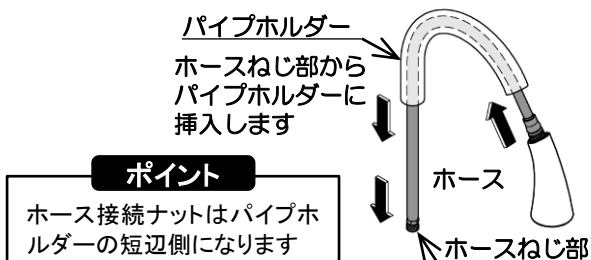
4. 締付けナットの下部をスパナ等の工具を使用して右回しに締め上げます。



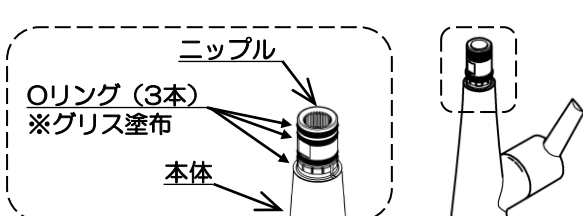
- 注意**
- 必ず工具を使用して締付けてください。工具は36mmユニバーサルレンチ、クロウフットレンチ等をご使用ください。
 - 締付後、本体にグラつきがないことを確認して下さい。締付は150kgf・cm以下のトルクで行ってください。締付けナットは樹脂製です。部品破損に十分ご注意ください。

3. パイプホルダーの取付け

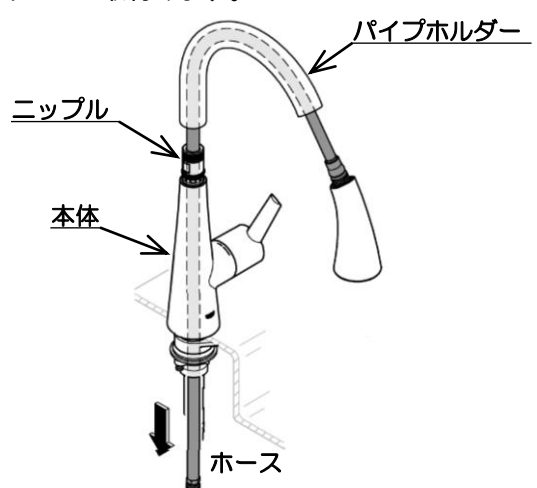
1. パイプホルダーにホースを挿入します。



2. 本体ニップルのOリング3本にグリスを塗布します。



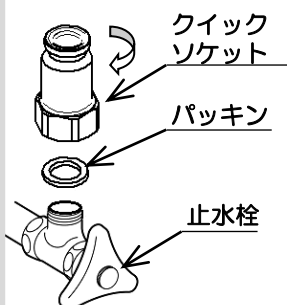
3. 本体ニップルにホースを挿入し、パイプホルダーを本体ニップルに取付けます。



据付手順

4. クイックソケットの接続

1. 逆止弁アダプターを止水栓に固定します。



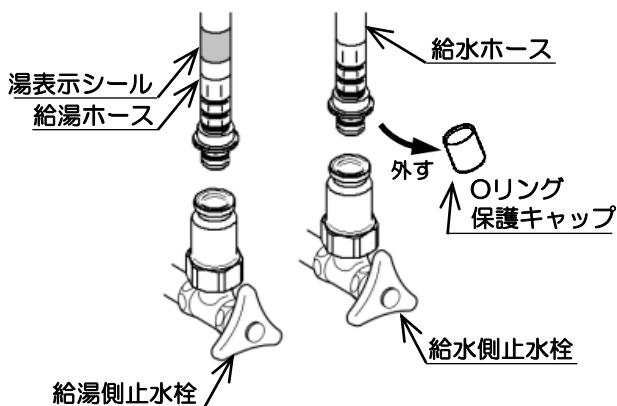
注意

寒冷地用は部品が異なります。

注意

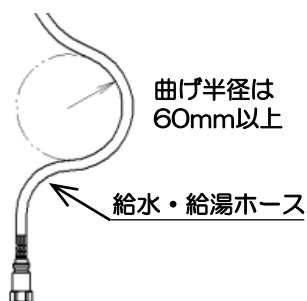
締付は200～300kgf・cmのトルクで行ってください。初期の締付が弱いと漏水の原因になります。

2. 給水・給湯ホースを接続アダプターに差し込みます。



注意

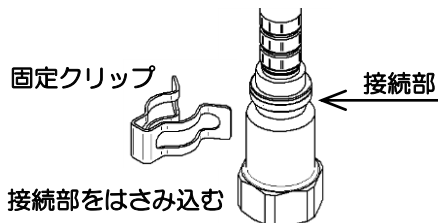
給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。※漏水の原因となります。



注意

・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
※漏水の原因になります。

3. 固定クリップを給水／給湯ホースとクイックソケットの接続部にはめ込みます。



接続部をはさみ込む

注意

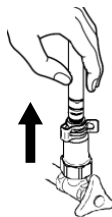


固定クリップでケガをしないようご注意ください。

注意

給水・給湯ホースの不要な接触は避けてください。※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

注意

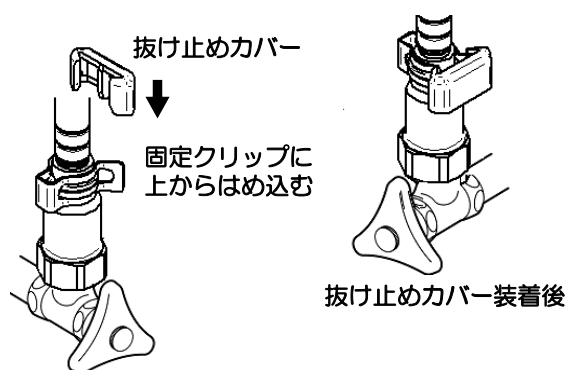


確実に接続されていることを確認してください。給水・給湯ホースを上を引き、ソケットから外れないことを確認してください。

注意

固定クリップはゆるまないよう、しっかりととはめ込んでください。※漏水の原因になります。

4. 抜け止めカバーを固定クリップにはめ込みます。



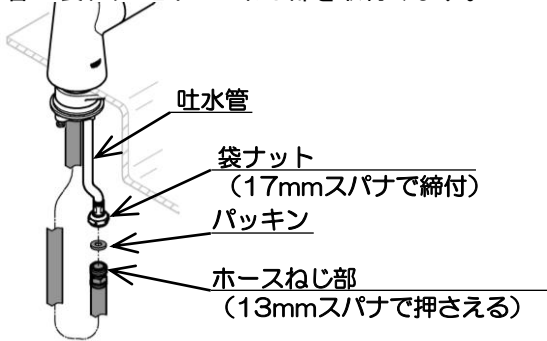
お願い

配管が設置されておらず、接続アダプターが接続できない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継いでいただき、配管への接続をお願いいたします。

据付手順

5. 本体の吐水管とホース接続

吐水管の袋ナットとホースねじ部を取付けます。



注意

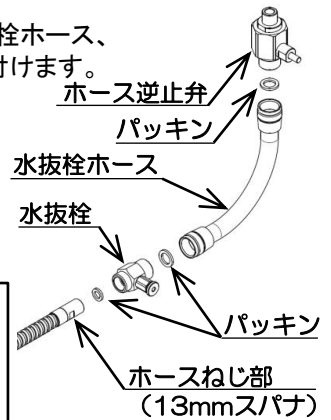
- ・ホースがねじれないように注意してください。
 - ・取付けには必ず工具を使用してください。
 - ・締付過ぎにご注意ください。
- ※漏水の原因になります。

寒冷地仕様の場合

寒冷地用は、袋ナットとホースの間にホース逆止弁、水抜栓を取付けます。

- ①ホースに、水抜栓、水抜栓ホース、ホース逆止弁の順に取付けます。

- ②ホース逆止弁に袋ナットを取付けます。

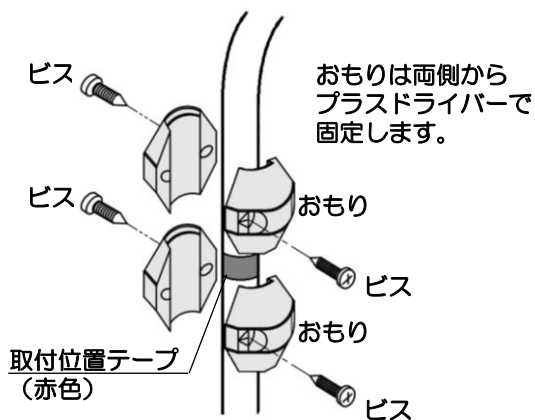


注意

- ・取付時は工具等でしっかり締めつけて下さい。
- ・パッキンはサイズを確認し、必ず取り付けて下さい。

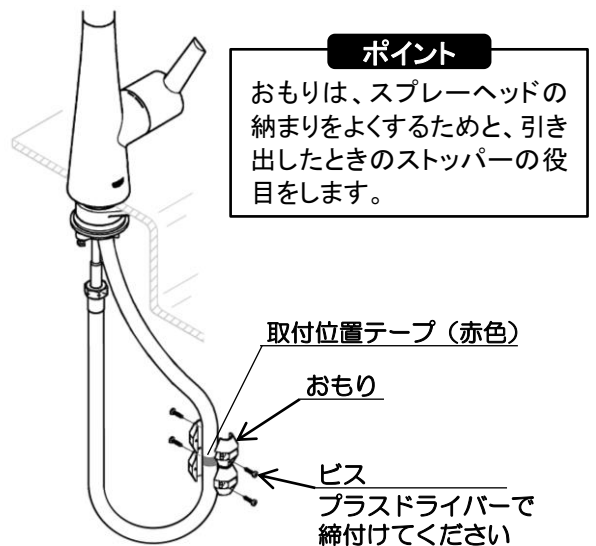
6. ホース用おもりの取付け

ホースの取付位置テープをおもりの中央位置で両側からはさみ、ビスで固定します。



注意

- おもりは、取付位置テープの上下に1つずつ取り付けてください。
- ※引出しホースが破損し漏水の原因になります。



おもりは、スプレーヘッドの納まりをよくするためと、引き出したときのストッパーの役目をします。

取付後の確認

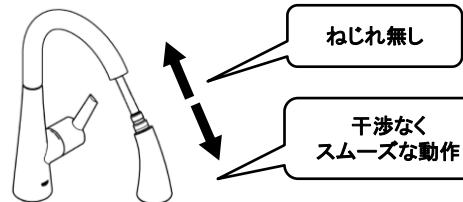
1. スプレーヘッドの動作確認

スプレーヘッドを出し入れし、ねじれや引っ掛かりがなくスムーズに動作することを確認します。

注意

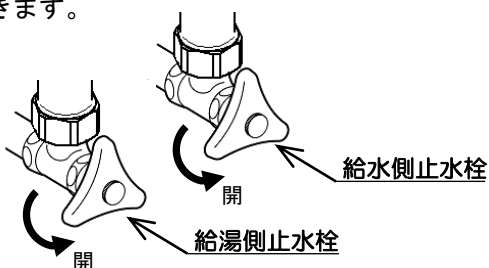
シャワーホースが給水・給湯管と干渉しないことを確認してください。

※摩擦によりホースが劣化する恐れがあります。

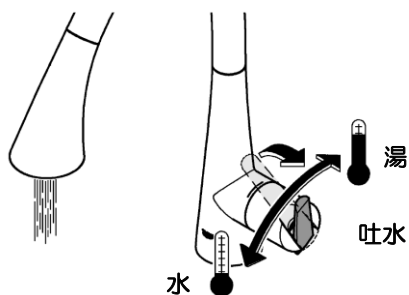


2. 通水確認

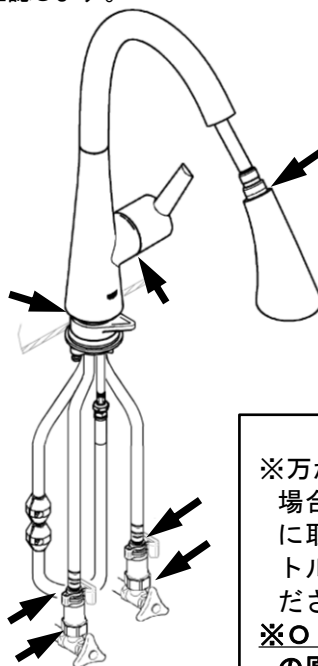
1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。



2. 湯側・水側それぞれの位置でレバーハンドルを開け、通水確認します。



3. 開閉ボタンで止水し、接続部からの漏水がないか確認します。



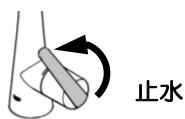
注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。

※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

3. エアレーター の清掃

1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. 以下の手順でエアレーターを取外します。

- ①エアレーターカバーを取外します。



- ②付属の専用工具を使用してエアレーターを回転させて取外します。



注意

・付属の専用工具は製造時期により形状が異なります。
・取外した部品は無くさないようご注意ください。

3. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



ポイント

設置直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

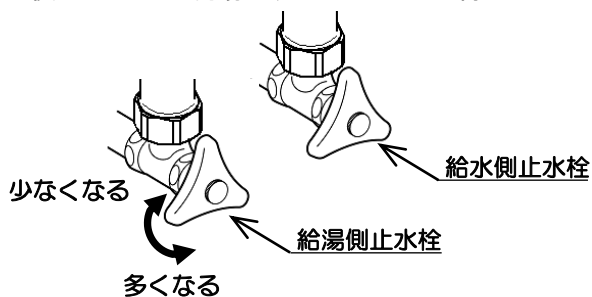
注意

・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
・専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

取付後の確認

4. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

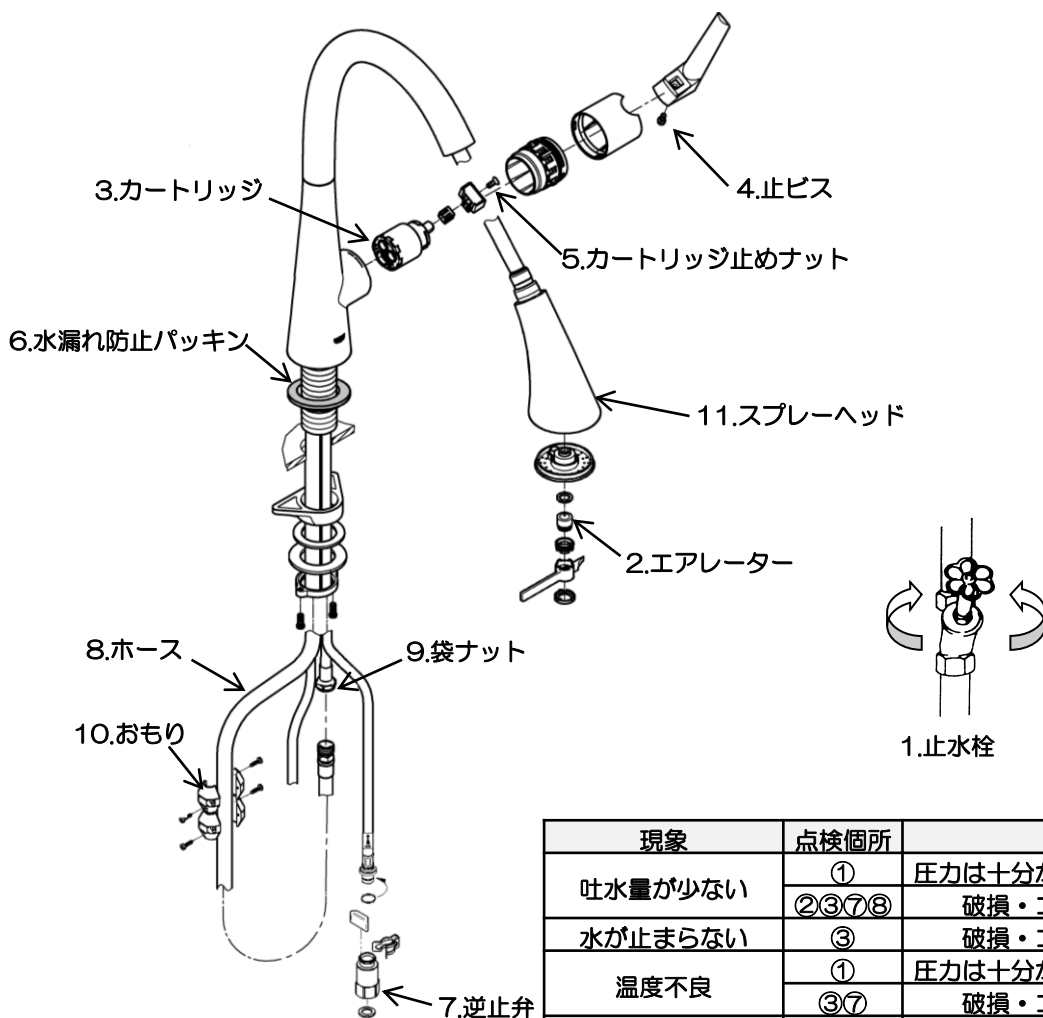


注意

レバーハンドルをを全開にしたときシャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約9秒)

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



| 現象 | 点検箇所 | 処置 |
|------------|------|------------------|
| 吐水量が少ない | ① | 圧力は十分か?十分開いているか? |
| | ②③⑦⑧ | 破損・ゴミかみはないか? |
| 水が止まらない | ③ | 破損・ゴミかみはないか? |
| 温度不良 | ① | 圧力は十分か?十分開いているか? |
| | ③⑦ | 破損・ゴミかみはないか? |
| レバーがガタつく | ④⑤ | 正しく取り付けられているか? |
| カウンター内の漏水 | ⑥ | 正しく取り付けられているか? |
| | ⑧ | 破損・ねじれはないか? |
| | ⑨ | 破損・ゆるみはないか? |
| ホースが引き出せない | ⑩ | 正しく取り付けられているか? |

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>